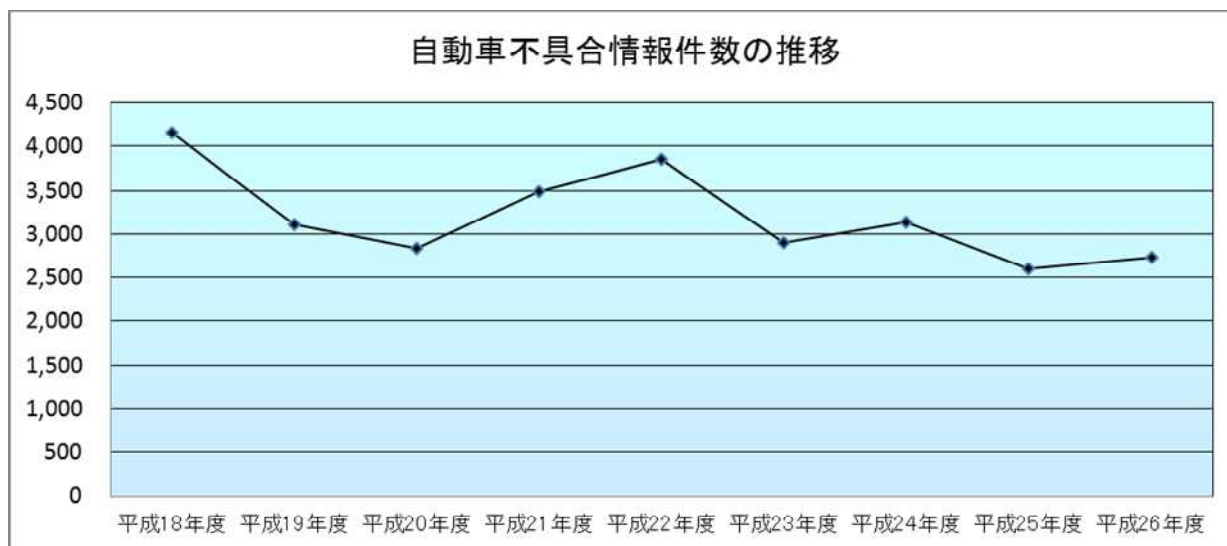


平成26年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成26年度の統計結果を公表いたします。

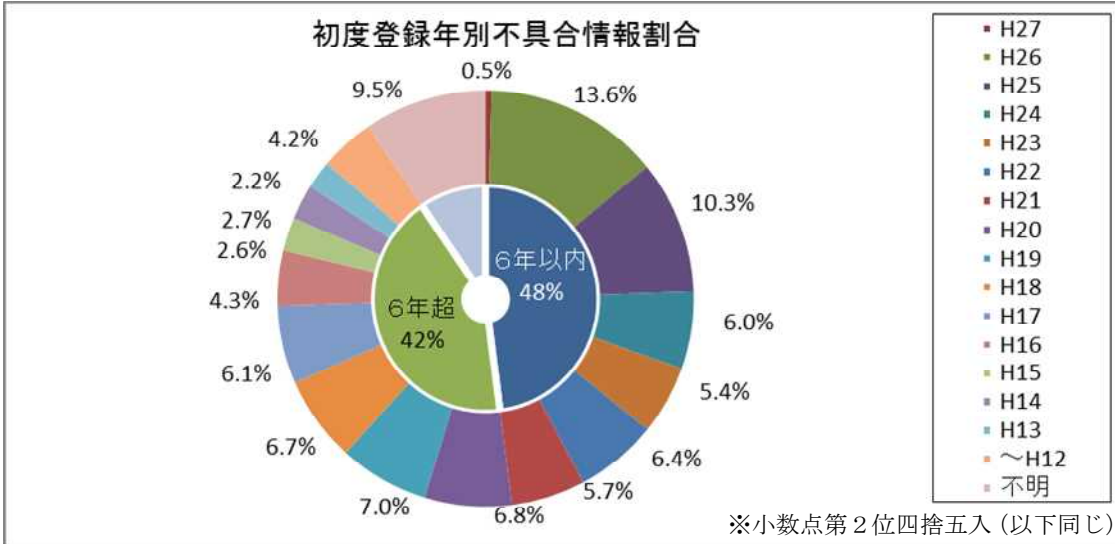
なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用など他の要因に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容の事実関係を保証しているものではありません。

1. 平成26年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報（以下、「不具合情報」という。）の件数は5,715件であり、そのうち有効な不具合情報の件数は（以下「不具合情報件数」という。）2,733件である。不具合情報件数の推移状況は、三菱自動車の不正行為が明らかとなった平成16年度をピークに減少傾向であったが、平成21及び22年度は、トヨタ自動車のハイブリッド車の制動装置不具合をきっかけとしてリコールに対する社会的な関心が高まった結果、不具合情報件数が増加したが、その後はやや減少傾向にあると考えられる。



年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
件数	4,150	3,110	2,837	3,493	3,862	2,906	3,141	2,597	2,733

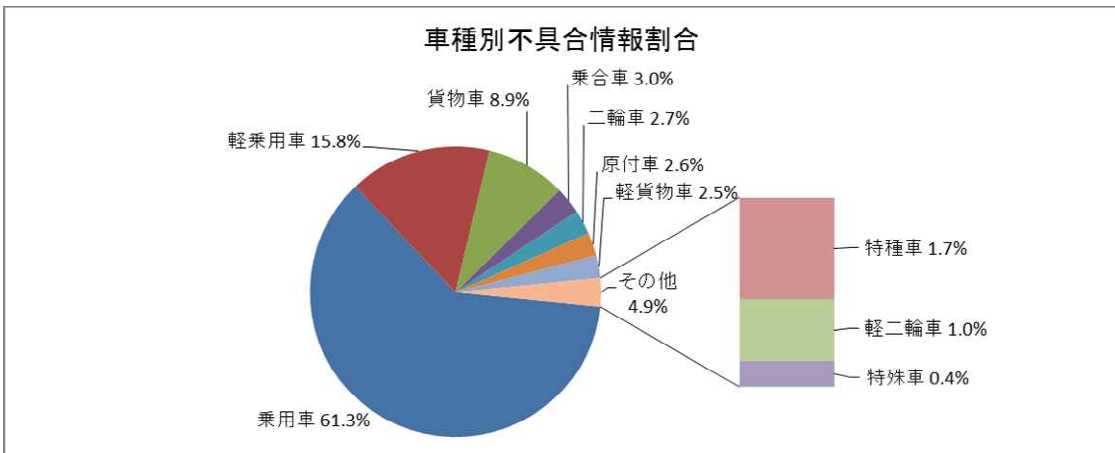
2. 初度登録年別不具合情報件数は、初度登録年が平成26年の自動車に関する自動車不具合情報件数が373件で全体の13.6%と最も多く、次いで、平成25年が281件(10.3%)、平成19年が191件(7.0%)の順となっている。初度登録年後の概ね6年以内の自動車（不明を除く）に関わる不具合情報件数が全体の約半数を占めている。



初度登録年	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12~	不明	合計
件数	13	373	281	165	147	175	157	185	191	182	166	118	70	74	59	116	261	2,733

3. 車種別不具合情報件数は、乗用車が1,676件で全体の61.3%と最も多く、次いで、軽乗用車が433件(15.8%)、貨物車が243件(8.9%)の順となっている。

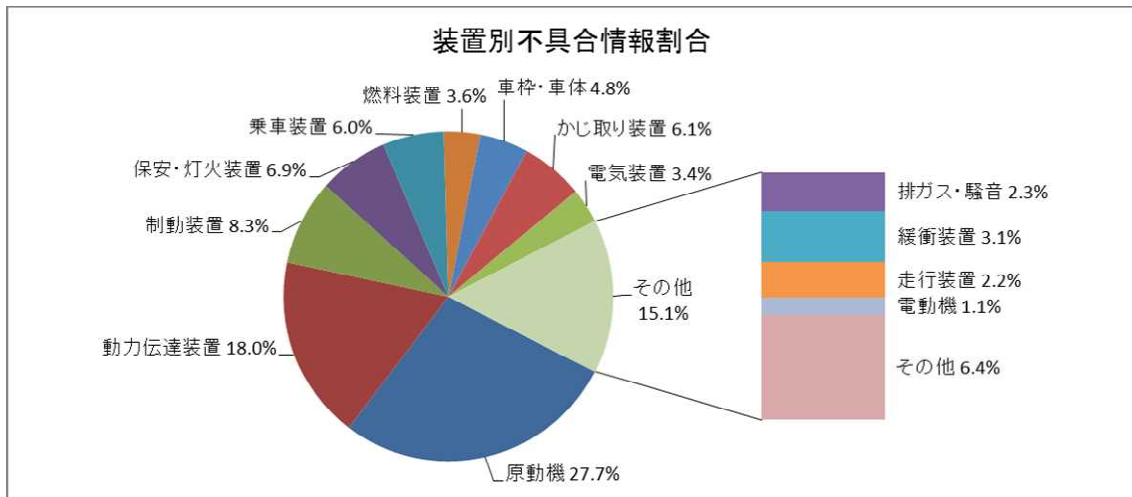
これは、自家用乗用車を使用する一般のユーザーから不具合情報が寄せられる割合が高く、また、平成26年3月末現在における乗用車の保有台数(39,821千台)が全保有台数(80,272千台)の約49.6%であることも関係しているものと考えられる。



車種別	乗用車	軽乗用車	貨物車	乗合車	二輪車	原付車	軽貨物車	特種車	軽二輪車	特殊車	不明	合計
件数	1,676	433	243	82	74	70	68	47	28	12	0	2,733

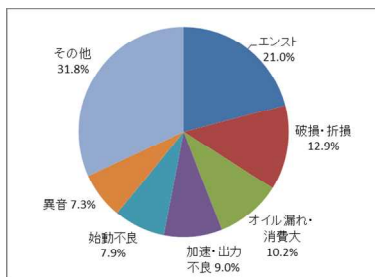
4. 装置別不具合情報件数は、原動機が 758 件で全体の 27.7%と最も多く、次いで、動力伝達装が 493 件 (18.0%)、制動装置が 228 件(8.3%)の順となっている。

また、不具合情報件数の多い装置について詳細を見ると、原動機の不具合事象はエンスト (159件)、動力伝達装置の不具合事象は異音・振動 (97件)、制動装置の不具合事象は制動力不足 (73件) がそれぞれ最も多かった。

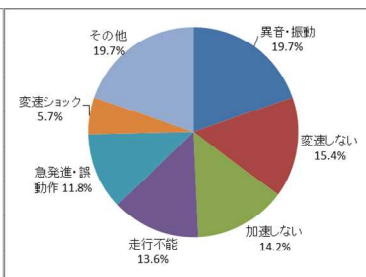


装置別	原動機	動力伝達装置	制動装置	保安・灯火装置	乗車装置	燃料装置	車枠・車体	かじ取り装置	電気装置	排ガス・騒音	緩衝装置	走行装置	電動機	その他	合計
件数	758	493	228	188	164	98	130	168	93	64	85	59	29	176	2,733

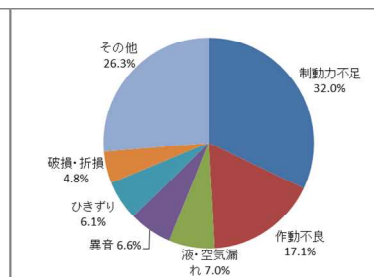
1.原動機



2. 動力伝達装置

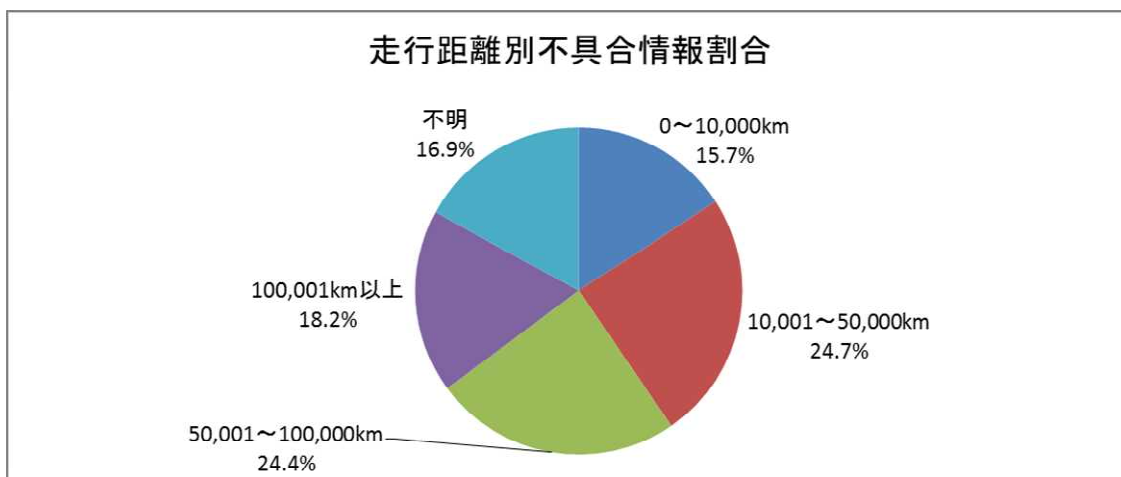


3. 制動装置



順位	不具合事象	件数	順位	不具合事象	件数	順位	不具合事象	件数
1	エンスト	159	1	異音・振動	97	1	制動力不足	73
2	破損・折損	98	2	変速しない	76	2	作動不良	39
3	オイル漏れ・消費大	77	3	加速しない	70	3	液・空気漏れ	16
4	加速・出力不良	68	4	走行不能	67	4	異音	15
5	始動不良	60	5	急発進・誤動作	58	5	ひきずり	14
6	異音	55	6	変速ショック	28	6	破損・折損	11
	その他	241		その他	97		その他	60
	合計	758		合計	493		合計	228

5. 走行距離別不具合情報件数は、1万km超5万km以下が675件（全体の24.7%）、5万km超10万km以下が667件（24.4%）と多くなっており、次いで10万km超が498件(18.2%)、1万km以下が430件(15.7%)の順となっている。



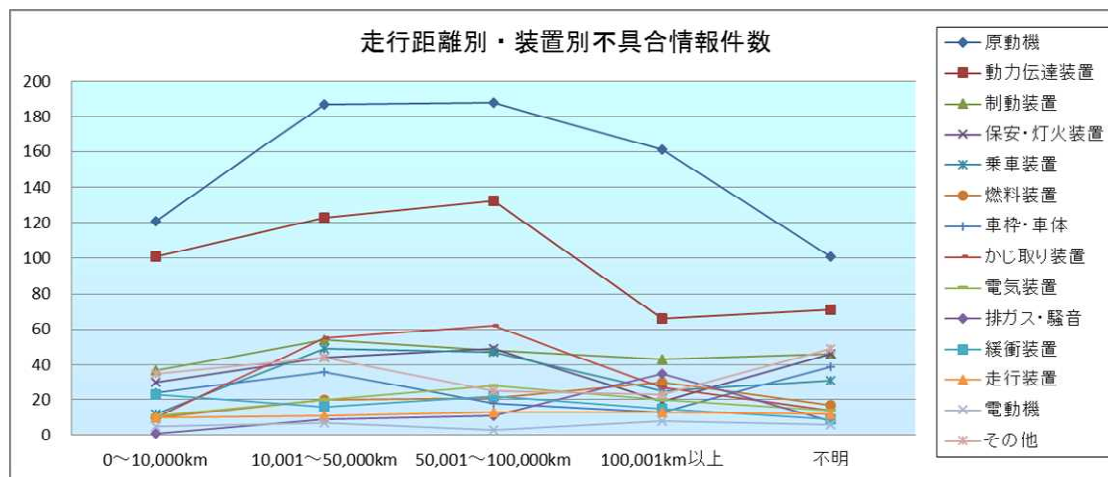
総走行距離別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	430	675	667	498	463	2,733

6. 走行距離別・装置別不具合情報件数は、全ての走行距離別の区分において原動機の不具合情報件数が最も多く、次いで動力伝達装置となっている。

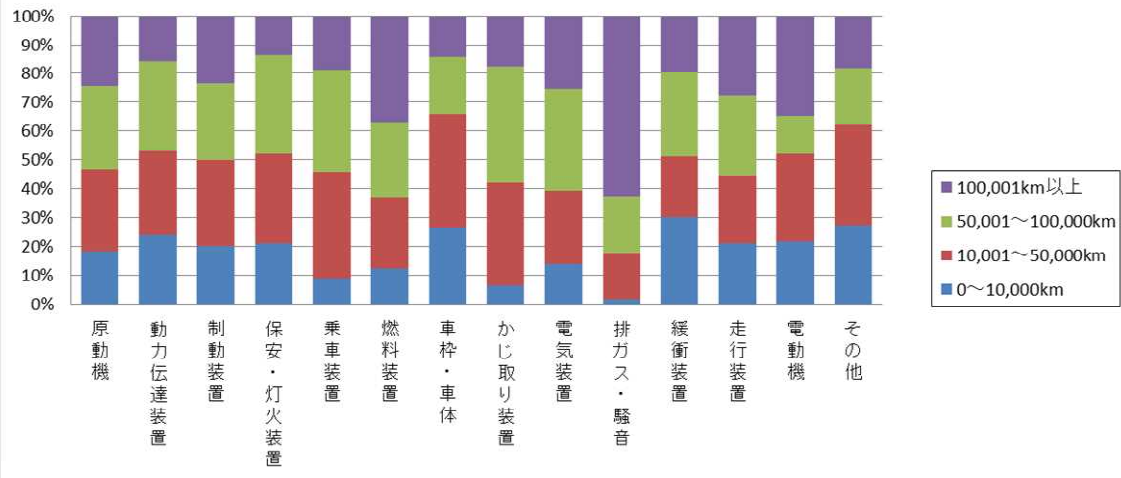
この2つの装置については、走行距離5万km超10万km以下が最も不具合情報件数が多くなってきている。

また、燃料装置及び排出ガス・騒音については、走行距離が長い区分ほど不具合情報件数が多くなっている。それ以外の装置については、各装置では各走行距離別の区分とも概ね一定であり顕著な傾向は見られない。

なお、不具合情報件数が最も多かったのは、走行距離5万km超10万km以下の原動機（188件）であり、次いで、走行距離1万km超5万km以下の原動機（187件）、走行距離10万km超の原動機（161件）の順となっている。



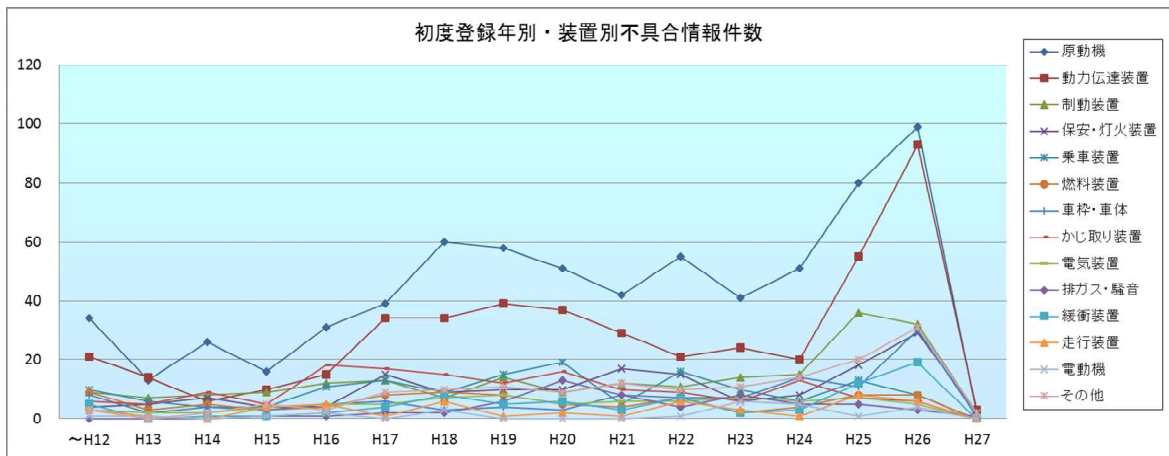
走行距離別・装置別不具合割合



総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	121	187	188	161	101	758
動力伝達装置	101	123	132	66	71	493
制動装置	37	54	48	43	46	228
保安・灯火装置	30	44	49	19	46	188
乗車装置	12	49	47	25	31	164
燃料装置	10	20	21	30	17	98
車枠・車体	24	36	18	13	39	130
かじ取り装置	10	55	62	27	14	168
電気装置	11	20	28	20	14	93
排ガス・騒音	1	9	11	35	8	64
緩衝装置	23	16	22	15	9	85
走行装置	10	11	13	13	12	59
電動機	5	7	3	8	6	29
その他	35	44	25	23	49	176
合計	430	675	667	498	463	2,733

7. 初度登録年別・装置別不具合情報件数は、ほとんど初度登録年において原動機が最も多く、動力伝達装置が2番目に多くなっている。

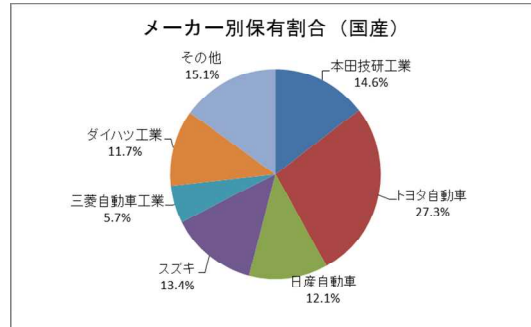
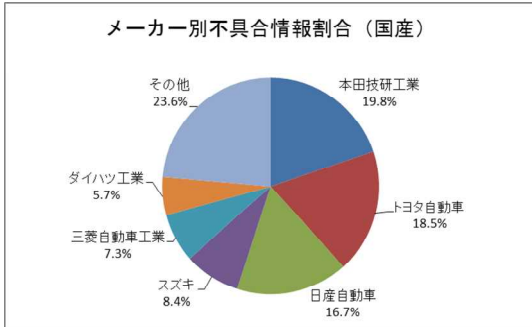
初度登録年の区分別に不具合情報件数の多い順を見てみると、原動機に関する情報で初度登録年が平成26年の99件、次いで動力伝達装置に関する情報で平成26年の93件となっている。登録後概ね1年から2年以内の原動機及び動力伝達装置に関する不具合情報が著しく多くなっており、登録後概ね5年超 10年未満の不具合情報も多い。



初度登録年別 装置別	～H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	不明	総計
原動機	34	13	26	16	31	39	60	58	51	42	55	41	51	80	99	2	60	758
動力伝達装置	21	14	6	10	15	34	34	39	37	29	21	24	20	55	93	3	38	493
制動装置	9	7	8	9	12	13	7	14	9	12	11	14	15	36	32	2	18	228
保安・灯火装置	4	5	7	4	4	15	9	10	10	17	15	6	8	18	29	2	25	188
乗車装置	10	6	4	4	11	13	9	15	19	5	16	10	6	13	8	0	15	164
燃料装置	9	3	5	3	4	8	9	8	5	4	7	2	4	8	8	0	11	98
車枠・車体	8	2	4	3	5	6	3	4	3	8	7	7	14	11	30	1	14	130
かじ取り装置	6	5	9	5	18	17	15	12	16	10	9	6	13	7	6	0	14	168
電気装置	3	2	2	4	5	5	7	8	5	6	6	7	6	7	5	0	15	93
排ガス・騒音	0	0	0	1	1	2	2	6	13	8	4	8	5	5	3	1	5	64
緩衝装置	5	0	1	1	2	4	8	5	6	3	7	2	3	12	19	0	7	85
走行装置	3	1	0	4	5	1	6	1	2	1	6	3	1	8	6	0	11	59
電動機	1	1	0	1	2	0	3	0	0	0	1	6	5	1	4	0	4	29
その他	3	0	2	5	3	9	10	11	9	12	10	11	14	20	31	2	24	176
合計	116	59	74	70	118	166	182	191	185	157	175	147	165	281	373	13	261	2,733

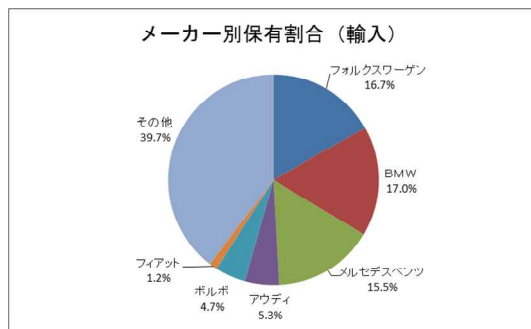
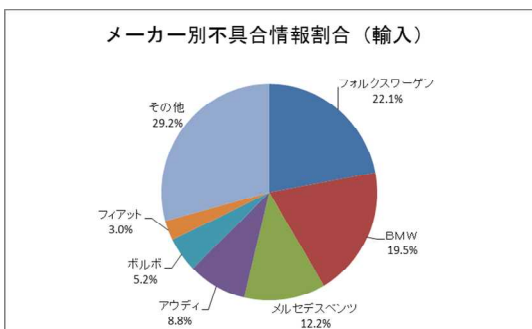
8. メーカー別不具合情報件数（国産車）は、本田技研工業が436件（全体の19.8%）と最も多く、次いでトヨタ自動車406件（18.5%）、ニッサンが368件（16.7%）の順となっている。

また、メーカー別不具合情報件数（輸入車）では、フォルクスワーゲンが118件（全体の22.1%）最も多く、次いでBMWが104件（19.5%）、メルセデスベンツが65件（12.2%）の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	本田技研工業	436
2	トヨタ自動車	406
3	日産自動車	368
4	スズキ	184
5	三菱自動車工業	160
6	ダイハツ工業	126
	その他	519
	合計	2,199

順位	メーカー名	台数(千)
2	本田技研工業	11,112
1	トヨタ自動車	20,806
4	日産自動車	9,224
3	スズキ	10,192
6	三菱自動車工業	4,372
5	ダイハツ工業	8,931
	その他	11,468
	合計	76,105



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	118
2	BMW	104
3	メルセデスベンツ	65
4	アウディ	47
5	ボルボ	28
6	フィアット	16
	その他	156
	合計	534

順位	メーカー名	台数(千)
2	フォルクスワーゲン	680
1	BMW	689
3	メルセデスベンツ	628
4	アウディ	214
5	ボルボ	191
6	フィアット	49
	その他	1,612
	合計	4,062

(注)：保有台数は、平成26年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。